

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ボランティア実習（Volunteer Practice）		
ナンバリングコード	E20915	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 通年
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E040501	クラス名	-
担当教員名	鈴木 照夫、竹田 隆行、鍋田 耕作		
履修上の注意、 履修条件	能動的に取り組むこと。出席と取り組みの内容を重視します。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	なし		

○基本情報		
授業の目的	地域における様々な課題・ニーズについて、理解を深めるとともに、課題解決に向けて主体的に活動していく力を養うことを目的とする。	
授業の概要	ボランティア活動を企画・立案し、または、既存のボランティア活動に参加することにより、ボランティア活動の実際を体験的に学び、実施した活動を振り返ることで、継続的かつ効果的に取り組むことができるようにしていく。 実習としてボランティア活動を行う際に、「企画書」の提出を求める。この企画書は、自ら企画・立案して実施する場合も既存の活動に参加する際にも必要となる。活動の企画は1回につき3時間以上で計画すること。活動回数は原則として4回以上とし、毎回の活動終了の際には活動内容や感想等の「報告書」の提出が必要である。また、活動の全体が終了した際には、別途「総括レポート」の提出を求める。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー II：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	積極的に活動へ参加することができる。		30点	
【知識・理解】	ボランティア活動の背景にある、様々な課題やニーズについて理解している。		10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	地域創生人材として求められる資質、能力等を活用し、地域を構成する一員として対応することができる。		30点	
【思考・判断・創造】	ボランティア活動を通して経験した内容について考察し、今後求められる人材や社会資源等について創造していくことができる。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
企画書、報告書、総括レポートをもとに取り組みの内容により評価します。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	ボランティア実習 (Volunteer Practice) 鈴木 照夫、竹田 隆行、鍋田 耕作	授業コード	E040501
学修内容				
1. オリエンテーション ○授業の目的・内容・進め方・成績評価等について説明する。 ○ボランティアの意義について考える。				
予習		シラバスを熟読し、授業の目的、概要等を理解する。	約2時間	
復習		各種ボランティア活動について調べる。	約2時間	
2. ボランティア活動の計画を練る ○全4回の活動について、いつ、どこで、誰と、どのような活動を、何のためにするか、などについて計画を練る。				
予習		自分がしたいボランティア活動について情報を収集する。	約2時間	
復習		活動予定先と連絡を取り、計画を具体化する。	約2時間	
3. 企画書の作成 ○全4回の活動の企画書を作成する。				
予習		企画書を作成するための情報を収集する。	約2時間	
復習		企画書を完成する。	約2時間	
4. 第1回活動(1) ○企画した活動を実施する。				
予習		企画書を確認し、活動先と連絡を取り、必要な準備をする。	約4時間	
復習				
5. 第1回活動(2) ○企画した活動を実施する。				
予習				
復習		1日の活動を振り返る。	約4時間	
6. 報告書の作成と企画書の練り直し ○第1回活動を振り返り、報告書を作成する。 ○第1回活動の振り返りに基づき、企画書を練り直す。				
予習		活動を振り返り、報告書の原案を練る。	約2時間	
復習		企画書を完成する。	約2時間	
7. 第2回活動(1) ○企画した活動を実施する。				
予習		企画書を確認し、活動先と連絡を取り、必要な準備をする。	約4時間	
復習				
8. 第2回活動(2) ○企画した活動を実施する。				
予習				
復習		1日の活動を振り返る。	約4時間	

○授業計画	科 目 名 担当教員	ボランティア実習 (Volunteer Practice) 鈴木 照夫、竹田 隆行、鍋田 耕作	授業コード	E040501
学修内容				
9. 報告書の作成と企画書の練り直し ○第2回活動を振り返り、報告書を作成する。 ○第2回活動の振り返りに基づき、企画書を練り直す。				
予習		活動を振り返り、報告書の原案を練る。	約2時間	
復習		企画書を完成する。	約2時間	
10. 第3回活動(1) ○企画した活動を実施する。				
予習		企画書を確認し、活動先と連絡を取り、必要な準備をする。	約4時間	
復習				
11. 第3回活動(2) ○企画した活動を実施する。				
予習				
復習		1日の活動を振り返る。	約4時間	
12. 報告書の作成と企画書の練り直し ○第3回活動を振り返り、報告書を作成する。 ○第23活動の振り返りに基づき、企画書を練り直す。				
予習		活動を振り返り、報告書の原案を練る。	約2時間	
復習		企画書を完成する。	約2時間	
13. 第4回活動(1) ○企画した活動を実施する。				
予習		企画書を確認し、活動先と連絡を取り、必要な準備をする。	約4時間	
復習				
14. 第4回活動(2) ○企画した活動を実施する。				
予習				
復習		1日の活動を振り返るとともに、報告書を作成する。	約6時間	
15. 総括レポートの作成 ○全4回の活動を振り返り、何ができ、何ができなかったか、身についた能力、今後どのように生かしていきたいか、などについて総括レポートを作成する。				
予習		全4回の活動を振り返る。	約2時間	
復習		総括レポートを完成する。	約2時間	
16.				
予習				
復習				